

## 入学式 式辞

瀬戸の海を吹き渡る風にも、春の訪れが感じられる今日の佳き日に、多数のご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、平成31年度の入学式を、かくも盛大に挙行できますことは、生徒並びに教職員一同大きな喜びであります。

ただ今、入学を許可しました39名の皆さん、入学おめでとう。はつらつとした皆さんを本校に迎えることができ、とてもうれしく思います。

本校は、昭和23年、向学心に燃える若者が、地域の人々を動かして創立されたことから、開拓者精神を伝統に持つ、今年で71年目を迎える学校です。

さて、本校での高校生活の出発に際して、皆さんにお願いしておきたいことは「生涯にわたって社会に貢献の出来る人になってもらいたい」ということです。人間の究極の幸せは、人に愛されること、人にほめられること、人の役に立つこと、そして、人から必要とされること、と言われていています。愛されること以外の3つの幸せは、特に働くことによって得られます。人生は、一生が学びの過程、成長の過程ではありますが、皆さんが本校で過ごす3年間で、しっかりと土台づくりをしてほしいと願っています。

具体的に、1つ目は、本校での生活で、自分の可能性を発見し、それを大いに伸ばす努力をしてほしいということです。みなさんは、それぞれたくさんの可能性をひめています。自分が何に向いているのか、将来何をしたいのか、学校生活を通じてそれを見つけ、伸ばす努力をしてください。このみどり豊かで静かな中島分校は、みなさんが自分のことをゆっくり考え、成長するための絶好の環境です。分校では皆さん一人ひとりが主人公です。体育大会や文化祭といった学校行事は少人数の学校とは思えないほど盛り上がります。それは分校の生徒が、一人何役もこなして、頑張ってくれるからであり、こうした経験が皆さんを成長させてくれるのです。また、先生方は、皆さん一人ひとりに寄り添い、丁寧に指導してくれます。卒業する時に、将来の夢に向かって、自分が行きたい進路に進むことができ、「中島分校に来て本当によかった。」と言えるよう、精一杯、自分を成長させる努力をしてほしいと思います。

2つ目は、友だちや周囲の人たちと良い人間関係を築き、充実した学校生活を送ってほしいということです。皆さんは、今日から本校の生徒として、冒険と挑戦の旅を始めることとなりますが、それは決して孤独な旅ではありません。もちろん、皆さんは、一人ひとり性格も考え方も違いますが、自分と相手との違いを認めたくて、相手の良いところをみつけて、お互いに思いやり、協力して一緒に生活していくことが大切です。笑顔で明るく元気な人のそばには、多くの友が集まります。お互いが触れ合い、切磋琢磨し、友情を深める中で、人として在るべき姿を考え、人間性を磨いてください。

以上2つのことを踏まえて、充実した高校生活を送っていただきたいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はお子様の御入学誠にありがとうございます。本年は多くの皆様のご協力を得て、39名の生徒を迎えることができました。その御恩に報いるためにも本日から3年間、私たち教職員一同は、生徒たちの幸せを願い、総力をあげて教育活動を推進してまいります。

とはいえ、より良い教育は、学校と保護者の協力があって始めて実を結ぶものです。ぜひ学校を信頼していただくとともに、私どもと良き連携を保ちながら、お子さんの成長を力強く見守って頂くことをお願い申し上げます。

最後に、昨年、ジャーナリストの池上彰氏が、えひめジョブチャレンジU-15事業において、本県の生徒のために寄せてくださったメッセージを紹介し、新入生の皆さんへのエールとします。

「君たちはどう生きるか」

これは、大人になっても自問する問いかけです。限られた人生をよりよく生きるためには、どうしたらいいか。人間は、試行錯誤を繰り返す中でしか答えを得られません。新しいことに挑戦し、新しい答えを見つけてください。

平成31年4月8日

愛媛県立松山北高等学校長 長井 俊朗